




精神障害者を福祉医療費助成制度(マル福)の対象とすることを求める意見書

上記、議案書を別紙のとおり提出いたします。


令和5年3月10日

栗東市議会 議長 田中英樹様


提出者 栗東市議会議員

梶原美保 


賛成者 栗東市議会議員

中野光一 


賛成者 栗東市議会議員

星乃英幸 

賛成者 栗東市議会議員

青木千尋 

賛成者 栗東市議会議員

川嶋 鬼 

賛成者 栗東市議会議員

精神障害者を福祉医療費助成制度（マル福）の対象とすること

を求める意見書(案)

平成5年に改正された障害者基本法では、これまで医療の対象であった精神障害者が、身体・知的障害者と同様に障害者福祉の対象と位置付けられ、国や地方自治体の福祉施策を整備する根拠となりました。

しかし、滋賀県の福祉医療費助成制度（重度心身障害者（児）（マル福））の対象者は、身体障害者手帳の交付を受けており身体障害の程度が1・2級に該当する方、身体障害の程度が3級に該当し知的障害の程度が中度に該当する方、および知的障害の程度が重度に該当する方、特別児童扶養手当支給対象児童で1級に該当する児童となっており、精神障害者は対象外となっています。よって、栗東市議会は、滋賀県に対し、次の項目の早期実現を求めます。

- 1 精神障害者を福祉医療費助成制度（マル福）の対象とすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和5年 月 日

栗東市議会議長 田中 英樹

滋賀県知事 三日月 大造様